

KAKEGAWA

かけがわ 第29号

# 市議会 だより

平成23年2月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

☎ 0537 (21) 1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>



真冬のウインドサーフィン(国安海岸にて)

おもな内容 CONTENTS

- 12月定例会の概要 2 ページ
- 政策議会報告 4 ページ
- 一般質問 6 ページ
- 行政視察報告 10 ページ
- 議会改革講演会 11 ページ
- 傍聴席/2月定例会の予定 12 ページ

# 12月定例会

## このようなことが決まりました

平成22年12月定例会が12月1日から24日までの24日間の会期で開かれました。  
 この定例会では、一般会計と特別会計の補正予算及び市条例の一部改正など24件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決されました。  
 主な内容は次のとおりです。



### 12月補正予算

#### 一般会計補正予算

- 1) 補正総額 9億3,884万円 (補正後の予算総額 442億4,191万円)
- 2) 主な内容

#### 歳入

①市税(増)	6億8,223万円
②財産収入(増)	1億5,288万円
③国庫支出金(増)	3,926万円
④市債(増)	2,420万円
⑤県支出金(増)	2,219万円

#### 歳出

①財政調整基金積立金(増)	5億3,000万円
②普通退職手当(増)	9,746万円
③生活保護医療扶助費(増)	5,646万円
④地域環境整備調整費(増)	5,500万円
⑤公共施設整備基金積立金(増)	4,000万円

### 条例の一部改正

#### 1 都市計画税条例の改正

「都市計画税見直し懇話会」の答申を踏まえて、都市計画税条例の一部を改正する議案が上程され、審議の結果、原案のとおり可決されました。これにより、これまで都市計画税課税区域であった**本谷・松葉・初馬の西山の3地区及び用途地域外で現況が白地農地**は、平成23年度より課税対象から**除外**されます。なお、今回対象外になった地域の都市計画税はおおむね年間290万円であります。

#### 2 公共施設における入館料・施設利用料金等の改正


今回の条例改正は、各施設の入館料・利用料金の設定基準を変更するためのもので、施設ごと合計7議案が上程され、審議の結果、原案のとおり可決されました。これにより、掛川城・御殿、健康ふれあい館、生涯学習センター、美感ホール、文化会館シオーネの入館料・利用料金は、条例の範囲内で市長の承認を得て指定管理者が設定できるようになります。(平成23年4月1日から)

# 11月臨時会

11月29日の1日を会期として臨時会が開かれました。議案は、市議会議員の議員報酬等、市特別職の給料等、市教育長の給与等、及び市職員の給与に関する条例の一部改正であり、人事院勧告に準じて報酬・給与・期末手当等を引き下げるとするものです。関連する4議案が上程され審議の結果、原案のとおり可決されました。この結果、**おおむね年間1億272万円の人件費が低減されます**。なお、可決された条例は、平成22年12月1日から施行されました。

## ❖ 11月臨時会・12月定例会における議案の審議結果一覧 ❖

区分	議案番号	議案名	議決内容
11月臨時会	議案第85号	掛川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	全会一致可決
	議案第86号	掛川市特別職の職員で常勤のものの給料等に関する条例の一部改正について	全会一致可決
	議案第87号	掛川市教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について	全会一致可決
	議案第88号	掛川市職員の給与に関する条例等の一部改正について	賛成多数可決
	議案第89号	平成22年度掛川市一般会計補正予算(第3号)について	賛成多数可決
	議案第90号	平成22年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	賛成多数可決
	議案第91号	平成22年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)について	賛成多数可決
	議案第92号	平成22年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	賛成多数可決
	議案第93号	平成22年度掛川市簡易水道特別会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
	議案第94号	平成22年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	賛成多数可決
12月定例会	議案第95号	平成22年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	賛成多数可決
	議案第96号	平成22年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算(第1号)について	賛成多数可決
	議案第97号	平成22年度掛川市水道事業会計補正予算(第1号)について	賛成多数可決
	議案第98号	掛川市都市計画税条例の一部改正について	全会一致可決
	議案第99号	掛川市茶室条例の一部改正について	全会一致可決
	議案第100号	掛川城条例の一部改正について	全会一致可決
	議案第101号	掛川市清水邸条例の一部改正について	全会一致可決
	議案第102号	掛川市健康ふれあい館条例の一部改正について	全会一致可決
	議案第103号	掛川市生涯学習センター条例の一部改正について	全会一致可決
	議案第104号	掛川市美感ホール条例の一部改正について	全会一致可決
	議案第105号	掛川市文化会館シオーネ条例の一部改正について	全会一致可決
	議案第106号	掛川市火災予防条例の一部改正について	全会一致可決
	議案第107号	字の区域の変更について(板沢地区)	全会一致可決
	議案第108号	町の新設について(洋望台地区)	全会一致可決
	議案第109号	掛川市道路線の廃止について	全会一致可決
	議案第110号	掛川市道路線の認定について	全会一致可決
	議案第111号	市有地の処分について	全会一致可決
	議案第112号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全会一致同意
陳情第5号	浜岡原発の安全に関する緊急の陳情	賛成少数不採択	



- 24日 長報告
- 16日 重要課題テーマ討議  
常任委員会協議会  
委員会報告、質疑、討論、採決、追加議案の市長提案説明、採決、常任委員会協議会(政策議会)委員
- 13日 付託  
常任委員会(政策議会)付託議案審査
- 10日 本会議一部議案採決、議案常任委員会
- 9日 本会議一般質問
- 1日 本会議平成二十二年度一般会計補正予算等各議案の市長提案説明

12月

12月定例会の経過

# 政策議会報告

12月定例会は、政策議会と位置づけられ、  
掛川市の中・長期的課題について活発な議論が交わされました。  
この協議会で話し合われたことが、  
今後の行政施策の道筋のひとつとされます。  
ここでは、議論された内容について要旨を掲載いたします。

## 総務委員会協議会

### 第一次掛川市総合計画の 成果指標のチェックについて

掛川市の理想的な将来像を描く第一次総合計画が平成19年から10カ年の計画で策定され、5年経過した今、成果や指標、社会情勢の変化等について当委員会で議論を深めた。

総合計画と市長マニフェストとの整合性や市長の任期との関係、成果指標も策定時とは変わり、指標や事業が目的に沿っているか、新しい事業も加わったこともあり、検証のうえ見直しも必要である。

雇用や景気対策も国の施策だけでなく、市としても長期的財政状況も考え推進を図る必要がある。

よりよい掛川市を創るため総合計画の推進は不可欠で、そのためには成果重視の職員の意識改革や市民の理解協力が必要である。

### 自治基本条例制定に向けて

自治基本条例は市の柱となるものであり、市民が条例策定に加わり、市民への周知、市民の役割など充分理解・認識してもらうことが必要で、協働や新しい公共など、地域での意見交換の場を設け、しっかり説明する努力が必要である。

自治基本条例と地域コミュニティのあり方、地域の人が地域の課題に優先順位をつけ対応するなど、まちづくりのあり方等、協働の理念について理解を深める必要がある。

議会では議会基本条例制定を視野に入れ、議会改革を検討しており、自治基本条例との整合を図る必要がある。

議会と市民の信頼ある関係を築くには、政策提言できる議会を目指し、よりよい掛川市政を探究すべきである。

## 環境産業委員会協議会

### 掛川市の産業とTPPについて

日本がTPPへ参加した場合、本市の産業のなかで農業に与える影響が最も大きく、国の試算を本市にあてはめると、農業産出額では25パーセントの減少が見込まれている。市としては、やる気のある認定農業者やビジネス経営体を支援していくと同時に、兼業農家主体による共同の茶工場を法人化し、共同で茶園を管理する仕組みづくりが必要である。お茶については、韓国への輸出に400パーセントの関税が掛けられていることから、関税撤廃となれば有利になる一面もある。

TPPの議論を契機に専門化・企業化を図ることが必要であり、農業の足腰を強くしていくことが大事である。

### 道路行政について

海山連携ルートという将来構想の中、南北幹線道路は、平成26年度までに完成する予定であった。引き続き東西環状線に全力で傾注することが求められているが、合併後に新病院建設事業が浮上したため、南北幹線道路整備計画を含め、優先順位等により整備している状況にある。道路保全是、財政的に厳しくても毎年6億円程の予算を確保し、地域要望にこたえ、道路の維持管理に努める必要がある。社会保障費がふえているため、道路建設費を削減する状況にある。41路線、220億円の20力年計画は、新病院建設事業費や社会保障費の増加に伴い、根底から崩れているので、最少の経費で最大の効果を出す整備手法の研究や一定の期間に生活道路系へ予算を回すことも検討する必要がある。

## 文教厚生委員会協議会

### 「健康医療日本一をめざして」について

健康づくりは、自助、互助、共助、公助と総合的に取り組むことが必要である。健康支援の環境整備などの行政施策を進め、個人の知識の強化や地域活動、保健事業の充実を図るべきである。健診受診率の向上と医療費の減少を目指し、改善すべきは何かを分析し、進めていかなければならない。重要課題は、「健診結果を自分でみることができる」「掛川市の現状を知る」「健やかな心とからだを育む支援体制づくり」である。市民一人一人が健康づくりを意識できる啓発をしたらどうかとの意見があった。

高齢者への対策としては、老人クラブの充実や互助による生きがい対策、地域福祉等の活動支援などを強化するとともに、寝たきりにならないように数値目標を掲げて挑戦すべきである。高齢になってもみんな元気である

ことが介護保険料の軽減になることを、市民に理解していただく必要があると思われる。高齢化社会の今日、人の役に立っているという意識を持てるようにする取り組みが重要である。

次に、病院退院後の在宅支援については、医療ニーズの高い患者や重度要介護者の場合、介護の負担や緊急対応への不安、核家族化等で介護する人がなく施設入所に依存する傾向があるので、在宅医療を支える診療所や訪問看護ステーションの充実が重要である。回復期リハビリ病床を担う民設民営の後方支援病院の誘致に取り組む必要がある。

討議の最後に、掛川市が目指す3つの日本一のうち、環境基本条例は既に制定され、自治基本条例は検討中であるので、健康医療日本一も条例化したらどうかという意見があった。

# 一般質問 Q&A

## 市長就任より中間点を迎えるが 感想と今後の政治姿勢は

水野 薫 (新政会)

○ ①合併後六年を経過しようとしているが、新市建設計画に対する進捗状況と重点プロジェクトに対する現状と今後の対応はどうか。

②市長のマニフェストの自己評価はどうか

**A** 知恵と工夫、選択と集中により必要な事業を優先

①進捗状況は、実施済みから実施中までのものが八十・三％。重点プロジェクトの総合健康センターは、新病院建設と「ふくしあ」という形で具現化しつつある。市民活動支援センターは、大東・大須賀区域はそれぞれ整備し、掛川区域においても再開発ビルの公共床の部分に検討している。三つ目の南北道については、海洋公園線と入山瀬線を優先的に進めていく。

②二十二年四月時点で、実施率は四十五・五％となっている。

○ 平成二十三年度の  
予算編成に対する考え方は

①新年度予算に対する基本

方針と重点施策及び歳入見込と予算総額はどうか。

②三つの日本一に対する来年度予算はどのように考えているか。

**A** 三つの基本方針を編成の指針として編成していく

①重点施策については地域医療体制の整備、南北朝の推進、企業誘致等を予定している。歳入のうち、市税についてはやや回復する見込みであり、予算規模は四百二十億円程度を見込んでいる。

②厳しい財政状況であるが、積極的に推進していく。

「他の質問事項」公共施設に対する「ストックマネージメント」と「スクラップアンドビルド」の対応について



英知を結集して

## 多重債務者への取り組みを伺う

山本行男 (公明党かがわ)

○ 最近の多重債務の問題は決して遊興費に浪費してきた借金だけではない。

まじめに生活していても突然会社から解雇され、債務者に陥るケースもある。問題は社会的、構造的問題も絡んでおり解決には行政の積極的関与も必要と思うが市長の考えを伺う。

**A** 専門家による多重債務特別相談会を開催した

多重債務等の相談窓口である消費生活センターの存在を広く知らせるため、広報かけがわにより消費者被害防止の啓発や消費生活相談窓口について広報をしている。問題解決のため、行政の各部署と連携するとともに市内弁護士会、司法書士会を活用し相談窓口の体制強化を図っている。今後は庁内関係部署による連絡会議を組織化していく。

○ いじめ、自殺根絶への  
取り組みを伺う

いじめ問題で自殺する事件

**A** 家庭や地域社会、関係機関との連携を密にし努力していく

四月から十一月までの認知件数は、小学校一三件、中学校八件、合計二一件。各学校での指導により、二〇件が解消され、一件は解消に向け指導中。全校体制で細心の注意を払い、継続して解決に向けて取り組んでいる。

「他の質問事項」市民活動日本一について、予算編成で自主財源策を伺う

### 貸金業法が大きく変わりました!



法律が変わりました  
(金融庁ウェブサイトより)

# 一般質問 Q&A

## 南北道上内田・高瀬線完成目標年度は

鈴木久男（創世会）

**Q** 新市建設計画の柱に挙げられている上内田・高瀬バイパス（農道の拡幅改良）が、全く進展していない。費用対効果から考え、最も事業効果の高いこの部分が、さらに先送りされることに危機感を抱いている。今後の促進計画を伺う。

**A** できるだけ早い段階で示し、議論させていただきたい

現在の交通量や将来予測交通量に対する費用対効果及び財政事情などと調整しながら、計画の見直しについて事業の延伸も含めて検討をしている。

## 都市計画税、昨年と今年で正反対の答弁は矛盾してないか

柴田正美（共産党掛川市議員）

**Q** 都市計画道路としての都市計画税を財源として南北広域幹線道路を整備すれば、多くの市民が恩恵を受け、税に対する不満も解消できると思う。計画決定して将来を担保すべきと考えるがいかがか。

**A** 道路網整備計画の各路線計画とあわせて研究をしていく

都市計画税の一部を投入して整備をするためには、市道認定の後に都市計画道路として決定が必要となる。また、決定のためには、上位計画との整合が不可欠であり、加えて国・県の関係機関との協議が必要である。相当の時間がかかるが、各路線計画とあわせて研究していく。

**Q** 市長は本谷・西山・松葉について、昨年六月議会では「他の都市計画区域より、受益が大きい」と答弁しているが、今度の見直し案では「受益が全くない」と言っている。おかしくないか。矛盾してないか伺う。

**A** 三地区の除外は適当であり、公平な課税に資すると考えている

また、受益がないところは課税すべきでない。とりあえず用途域外は課税対象から除外すべきである。今回の見直し案によって昨年の答弁が全く不当であったと考える。都市計画税の不当課税がますます明白になってきているのではないか伺う。

都市計画事業にはさまざまな都市施設があり、都市計画区域内の都市施設を効率的、効果的に整備する目的税である。国の取り扱い通知では、「市街地から著しく離れたへんぴな地域に所在する山林などのように、一般に都市計画事業または土地区画整理事業による受益が全くないと認められるものがある場合は、当該山林などの地域を課税区域から除外することが適当である。」とされていることから、今回、市街地から著しく離れた受益がほとんど及ばない区域を課税区域から除外することとした。

この答弁が、私の見解であるということと理解をいただきたい。

【他の質問事項】新年度予算編成について、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）参加問題について



急勾配の（農道）上内田・高瀬線でも通勤利用者は多い（岩井寺交差点）



大須賀 本谷地区

【他の質問事項】平成二十三年予算編成について、国民健康保険税について、公募による指定管理者制度導入について

# 一般質問 Q&A

## 東海地震で浜岡原発は大丈夫か。 五号機の耐震安全性は

川瀬守弘（共産党掛川市議団）

**Q** 東海地震に備えた耐震性の検証がされていないため五号機は運転中止している。この間、点検漏れ・さまざまな管理運用など、重大事故が続発している。市民の安全を守る立場から見解を伺う。原発に新たな危険を持ち込むプルサーマルは中止すべきと思うかががが。

**A** 安全・安心を考えて、国において慎重な審議をお願いする

中部電力に対し、早急に対策を講じ、今後このようなことが二度と起こらないよう強



掛川市立総合病院

## 消防団員確保と活性化への取り組みは

松井俊二（新政会）

**Q** 近年の就業構造の変化などによるサラリーマン団員の増加に伴う、昼間の消防力の低下が問題となっており、地域防災力の強化策として、どのような事を考えているか。

**A** 機能別消防団員の採用を検討していく

消防団のOBの方々に再入団していただくことを考えている。また、消防団の出動範囲を広げることにより、出動車両をふやし、災害への対応能力を強化することを考えている。



倒壊家屋撤去訓練

**Q** 市町消防の広域化の推進目的は

いまなぜ、広域化を推進する必要があるのか。広域化によって期待できるメリットとは、どのようなものか。また広域化に対する国の財政措置は、どうなっているのか。

**A** 多種多様な災害への対応力を強化することが可能

近隣市と連合で行政を進める時代であると考えている。期待できるメリットは、費用の削減、派遣する指令員の減員、システムの高機能化により連動して短時間で業務を行うことが可能となることなどがある。

財政措置については、指令施設の整備に対する国庫補助金が優先配分されることや、充当率の高い起債に対し交付税措置が受けられる財政支援がある。

【他の質問事項】東海地震対策について

現在の医師数は、常勤医師四八名で昨年同時期と比べると四名減少しているが、来春には正規医師三名と研修医四名が内定している。  
看護師数は、正規職員が二六一名、非常勤職員が六七名であり、入院における看護基準一〇対一を確保している。

【他の質問事項】中心市街地活性化策について、掛川市の地域医療の現状と連携体制について

# 一般質問 Q&A

## 国土の六八%は森林。その森林が危機、山林の実態と課題は

草賀章吉（創世会）

**Q** 日本の森林が外国資本に買われていることが判明している。公益的機能を持つ森林が、森づくり県民税を使った「森の力再生事業」で荒廃が解消しつつあるが売買されてしまうのが心配である。近年の県や掛川市の山林売買実績はどうなっているか。林業の将来見通しと森林行政を伺う。

**A** 整備の前提となる森林境界確定業務を進めていく

山林の売買件数は、最近五年間で、県内で千六件、面積は五千五百三十八ヘクタール、

## 太陽光発電施設の普及促進策は

高木敏男（誠和会）

**Q** 東京工業大学との共同研究を進めていると聞いているが、その概要と、求める成果は何であるのかを伺う。

**A** 広報やホームページ等で普及促進を図っている

概要は、太陽光発電施設の普及促進への課題についての調査・研究であり、成果は太陽光発電施設の全戸設置に向けての情報発信、意識啓発につながっていくものと確信している。



婚活列車 in 天浜線

**Q** 少子化対策として行政の婚活支援が必要では

**A** できる限り支援をしていきたいと思っている

大変すばらしい取り組みをしていただくと本当に感謝している。市民活動モデル事業に取り組んでいただくことができるよう検討を進めていく。

【他の質問事項 第一次掛川市総合計画】



太陽光パネルの設置が進められている

**Q** 新設した農商工連携室は期待した機能を発揮しているか

**A** まずはまずの成果を上げている

本年度の機構改革で設置されたが、具体的には、どんな成果をあげたのか。今後の課題にはどんなことがあるのかを伺う。

成果としては、姉妹都市である奥州市で掛川市の基幹作物であるお茶の販路拡大を目指した取り組み、市内宿泊業者や飲食店に対しての地産地消メニューへの取り組みの働きかけなどがある。

課題としては、商工会議所と両商工会や両農協、その他関係団体との連携が重要であるので、時間をかけて十分な調整を行っていく。

【他の質問事項】危機管理について

## 委員会行政視察

各委員会は、所管する事項を調査するため先進地へ行政視察を行いました。

### 議会運営委員会（11/9～11）

【視察事項】

- 議会運営について（沖縄県那覇市）
- 基地の現状について（嘉手納米軍基地）
- 議会運営について（沖縄県糸満市）



沖縄県糸満市

### 産業振興特別委員会（10/21～22）

【視察事項】

- 産業振興の取り組みと成果（新潟県新潟市）
- 食の循環によるまちづくり（新潟県新発田市）



新潟県新発田市

### 議会改革検討特別委員会（10/13～14）

【視察事項】

- 議会改革、議会基本条例（埼玉県所沢市）
- 一般質問における一問一答制（千葉県市原市）



埼玉県所沢市

### 議会だより編集特別委員会（8/30～31）

【視察事項】

- 議会だよりの編集について（大阪府池田市、愛知県幸田町）

### 総務委員会（10/5～7）



北海道稚内市

【視察事項】

- 移住、定住推進事業の取り組み（北海道深川市）
- 財政計画見直し及びインターネット公売の取り組み（北海道留萌市）
- 自治基本条例の取り組み（北海道稚内市）

### 環境産業委員会（7/28～30）



沖縄県名護市

【視察事項】

- 名護市産業支援センターの取り組み、中心市街地商業基盤整備事業（沖縄県名護市）
- 観光施策の取り組み、バイオマスタウン構想（沖縄県うるま市）

### 文教厚生委員会（8/9～11）



広島県尾道市

【視察事項】

- 地域在宅医療支援センターの構築、24時間対応訪問看護ステーションについて（福岡県）
- 特別支援教育の推進（福岡市発達教育センター）
- 地域包括ケアシステムの取り組み（広島県尾道市公立みつぎ総合病院）

# 議会改革講演会を行いました

議会改革検討特別委員長 竹嶋善彦

分権時代の到来の中で、議会改革を進める当委員会の主催で、議会のあり方について、山梨学院大学の江藤俊昭教授を講師に招き、「議会改革の課題と議会基本条例」について講演をしていただきました。

二元代表制のもとで議員の最大の責務は、住民の代表として住民の意向を自治体の運営に反映し、住民全体の利益につなげることであり、議会の監視機能や政策提言など、議事機関としての役割をしっかりと発揮することです。



講師 山梨学院大学 江藤俊昭教授



そして、議会が追認機関にならないか、議会が積極的にならぬか、市民の意見に耳を傾けているか、また住民自治の根幹となる議会や議会基本条例について、一般質問のあり方や議員定数等についてのお話も伺いました。

議会改革の第一人者である先生のお話は今後の議会改革に大変参考になりました。

当市においても「開かれた議会」「わかりやすい議会」「住民と歩む議会」を目指し議会基本条例の制定に向け取り組んでいきます。

# 岩手県奥州市との交流がさらに進展

合併前の大東町と胆沢町との交流は、約二十年間続いておりました。新市誕生後は、

・平成十九年一月九日

災害時相互応援に関する協定

・平成二十二年二月十三日

姉妹都市提携

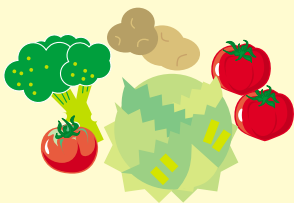
・平成二十二年十一月二十二日

交流計画書の締結

の経過をたどっています。

交流事業計画書の締結には、奥州市長・市議会議長をはじめ、関係者十五名が本市を訪問し、今後の交流計画の方針が具体的に検討されました。その内容は、①産業交流、②文化・芸術交流、③教育交流、④相互訪問交流、⑤情報交流の五つの分野を軸に進めていくことが確認されました。

既に両市内数カ所の施設に、茶やリンゴ等の特産品の販売所や、観光PRコーナーが設けられ好評を得ております。



## 行政視察受入状況(議会事務局扱い)

H22年度	件数	人数	内宿泊件数	宿泊人数
4月～12月	29	207	14	129



## 項目別上位3位の視察受入状況

順位	分野	主な内容	件数
1	教育文化	幼保再編計画・生涯学習	11件
2	環境生活	環境施策・環境資源ギャラリー	8件
3	防災危機管理	震災対策・消防活動	4件

# 議会 日誌



## 10月

13日～14日

- 議会改革検討特別委員会行政視察（埼玉県所沢市、千葉県市原市）

18日

- 太田川原野谷川治水水防組合議会
- 中東遠看護専門学校組合議会
- 浅羽地域湛水防除施設組合議会

19日

- 議会運営委員会

21日～22日

- 産業振興特別委員会行政視察（新潟県新潟市、新潟県新潟田市）

25日

- 東海市議会議長会理事会（三重県名張市）

26日

- 産業振興特別委員会

27日

- 市議会全員協議会

- 28日 ● 静岡県市議会議長会定期総会（伊豆の国市）
- 総務委員会協議会

## 11月

1日 ● 静岡県地方議会議長連絡協議会（静岡市）

- 文教厚生委員会協議会

4日 ● 中東遠地区市議会議長協議会

8日 ● 議会改革検討特別委員会

9日～11日

- 議会運営委員会行政視察（沖縄県那覇市、糸満市、嘉手納米軍基地）

12日 ● 全国市議会議長会評議員会（東京）

19日 ● 市議会全員協議会

- 環境産業委員会

22日 ● 議会運営委員会

- 議員懇談会

24日 ● 議会運営委員会

- 議員懇談会

26日 ● 議会改革講演会

29日 ● 掛川市議会第5回（11月）臨時会

- 産業振興特別委員会
- 議会改革検討特別委員会

## 12月

1日～24日

● 掛川市議会第6回（12月）定例会

6日 ● 議会だより編集特別委員会

9日 ● 議会運営委員会

16日 ● 議会運営委員会

17日 ● 新病院建設・地域医療対策特別委員会

21日 ● 議会改革検討特別委員会

- 市議会全員協議会

22日 ● 議会だより編集特別委員会

## 1月

13日 ● 議会だより編集特別委員会

### 傍聴席

私は十二月十日に、掛川市議会の定例会を初めて傍聴し、本会議場に入場させてもらいました。

議会の中で、浜岡原発が点検ミスや事故等が多発していると聞き驚きました。市民が、安心・安全な生活ができるようにお願いします。もし、東海地震が起きたら、多大な被害を受けるかもしれません。また道路整備や小・中・高校の耐震補強や一般家庭の耐震補強が必要だと思います。掛川の道路が新しくできて道に迷うことがありません。

まだまだ市の解決しなければならぬことが多いようですが、議員も市民も頑張りなくてはならないと思います。

今回の定例会の傍聴は、わずかな時間でしたが、知らないことが多くありました。市民の多くが傍聴に参加できるようになればと思います。

今まで「広報かがわ」に目を通していましたが、掛川市のことを知るためにも市議会だよりをよく読んでいきます。

小沢辰夫（道神町）

## 2月定例会の予定

- [2月]** 28日 本会議（施政方針、議案の提案説明）
- [3月]** 1日 本会議（議案の提案説明）
- 4日 本会議（22年度関係議案質疑、委員会付託）・常任委員会
- 9日 本会議（22年度関係議案委員長報告、採決）
- 10日 本会議（一般質問）
- 11日 本会議（一般質問）
- 14日 本会議（23年度関係議案質疑、委員会付託）・常任委員会
- 15日 常任委員会
- 23日 本会議（23年度関係議案委員長報告、採決）

### 編集後記

寒い冬の日が続いています。寒い中でもホットな議論が交わされる議会だより編集委員会です。

八人の議員で構成される委員会では、記事の編集をはじめ表紙の写真を撮るのもすべてこのメンバーで行い、市民の皆さんに何を伝えるか、本会議・各委員会での協議内容等、熱い議論の末、決定されます。

委員会からの報告・一般質問の質問者からの原稿、委員作成原稿などを八人の委員にしっかりと伝えていただけるのか、一言一句検討し原稿が作成されます。

多くの市民の皆さんに読んでいただきたいと願っております。

編集委員 鈴木正治

